



2026 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F C E
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 川 淳 悦
(コード番号：9564 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 IR オフィサー 多 氣 頌 絵
(TEL 03-5908-1400)

株式会社リーディングマークと業務提携契約を締結 ～人財育成と適性検査・ウェルビーイングのシナジーにより、 企業の人的資本経営を支援～

株式会社FCE（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：石川淳悦、証券コード：9564）は、HRTech プラットフォーム「ミキワメ AI」を展開する株式会社リーディングマーク（本社：東京都港区、代表取締役社長：飯田悠司）と、業務提携契約並びに販売パートナー契約を締結いたしました。

本提携により、当社の強みである人財育成ノウハウと、リーディングマーク社が有する適性検査・ウェルビーイングのデータを融合し、企業の人的資本経営における「組織課題の可視化」から、個々の特性に応じた「教育・マネジメントによる課題解決」まで、一気通貫で支援する体制を構築してまいります。また、株式会社リーディングマークが提供する「ミキワメ AI」をはじめとする適性検査やウェルビーイングサーベイを当社の顧客へ展開することで、より幅広いソリューションで顧客の人財育成・社員教育を支援してまいります。

・業務提携の背景

当社は「チャレンジあふれる未来をつくる」というパーパスのもと、DX 推進事業および教育研修事業を展開し、人的資本の最大化を支援しています。特に教育研修事業においては、人財育成プラットフォーム「Smart Boarding」をはじめとするサービスを通じ、社員のあり方・考え方や仕事の仕方、スキル向上を支援し、多くの企業の組織力強化に貢献してまいりました。

一方、株式会社リーディングマークは、「ミキワメ AI」をはじめとする適性検査やウェルビーイングサーベイを通じて組織の課題を可視化し、その解決に向けたソリューションを提供しています。AI を活用し科学的に組織の課題を可視化するリーディングマーク社の知見と、当社が持つ教育研修・マネジメントの実践ノウハウを掛け合わせることで、具体的な「組織の行動変容」を促す包括的な支援が可能になると考え、本提携に至りました。

・販売パートナー契約の内容

株式会社リーディングマークが提供する「ミキワメ AI」は、累計 6,000 社以上の顧客に導入されています。今回、販売パートナー契約の締結により、当社は株式会社リーディングマークの販売パートナーとして、同社が展開する「ミキワメ AI」シリーズの提供を開始いたします。対象顧客に対するサービスのご案内から、導入に向けたトライアル利用の支援、および商談から契約締結に至るまでのクロージング活動を一貫して担います。

既存の教育研修サービスと合わせてこれらのサービスを導入企業へ提案することで、組織の採用・定着から育成、マネジメントに至るまで、より包括的かつ科学的な人的資本経営を支援するソリューションを提供してまいります。



・両社サービスの連携による提供価値

本提携により、以下のシナジーを発揮いたします。

「組織課題の可視化」から「打ち手」への接続

ウェルビーイングサーベイ等で可視化された組織課題に対し、両社が保有する豊富な教育プログラムの中から、最適な研修を適時に提供することで、組織の課題解決を加速させます。

研修効果の最大化

適性検査で社員一人ひとりの特性や目指す姿を理解した上で教育を行うことにより、研修の習得効率を高め、定着と活躍を促します。

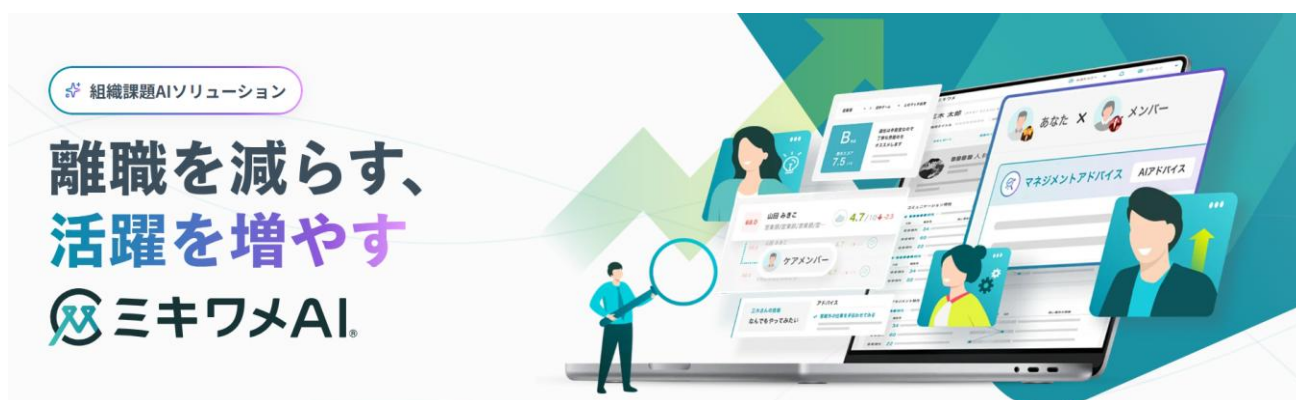
科学的な組織マネジメントの実現

採用から育成、現場のマネジメントに至るまで、AIによる分析と人財育成ノウハウを組み合わせ、持続的な組織改善サイクルを提供します。

・両社主要サービス「ミキワメ AI」「Smart Boarding」の製品特徴と強み

株式会社リーディングマークが提供する「ミキワメ AI」

ミキワメ AI は、採用から育成まで組織の課題を支援する、HR プラットフォームです。適性検査・ウェルビーイングサーベイ・マネジメント・AI コーチなどのプロダクトを提供し、「離職を減らす、活躍を増やす」を実現します。心理学×AI の専門知見をもとに、自社に合う人材の見極めから、性格に合わせたマネジメント・コーチングまで一気通貫で支援します。



当社が提供する「Smart Boarding」

Smart Boarding は、「人と組織の行動変容を、成果につなげる」人財育成プラットフォームです。専任

担当が組織課題から逆算した活用設計、育成プログラム作成まで伴走支援。動画コンテンツをただで終わらせない「習慣化」と「組織支援環境づくり」で、事業成長を支援します。豊富で高品質な動画コンテンツ、ライブ型実践トレーニング、受講管理、理解度を可視化するテスト・レポート機能も充実。「知っている」を「できる」に。そして「習慣」に。教育プロセスを通じて、成長実感を作り出し、人と組織の行動変容を実現します。

【お問合せはこちら】

人財育成プラットフォーム「Smart Boarding」サービスページ

<https://www.smartboarding.net/>

Smart Boarding

「人と組織の行動変容を、成果につなげる」
人財育成プラットフォーム

人事が選ぶ導入したい
オンライン社員研修
人気
no.1

学ぶ 実践してみる 課題の再定義

この繰り返しで「知っている」から
「できている」に変えていく。

#現場で教える時間が取れない #研修はあるが効果性が見えない #組織理念が浸透しない
#管理職/リーダー層が育たない #若手の早期離職が頻発している #教育制度を整えられていない #自ら学ぶ社員が少ない

※2022年7月期 日本マーケティングリサーチ機構ブランドのイメージ調査

・今後の展開

両社は、人的資本経営の重要性が高まる企業の課題解決に向け、それぞれの持つ人財育成および適性検査・ウェルビーイングの知見を融合させてまいります。各社のサービス提供を通じて蓄積されたノウハウを相互に活用し、人財育成の質の向上と、企業の持続的な成長を支援するための体制構築を共同で進めてまいります。

・株式会社リーディングマーク

設立：2008年1月

代表取締役社長：飯田悠司

本社：東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル 10階

事業内容：「Personality Tech」を通じたHR事業

URL：<https://www.leadingmark.jp/>

- ・自社で活躍できる社員を10分間でミスマッチ採用を防ぐ「ミキワメ AI 適性検査 (<https://mikiwame.com/aptitude-test.html>)」
- ・社員のメンタル状態を可視化し、性格をもとにアドバイスをすることでウェルビーイングを実現「ミキワメ AI ウェルビーイングサーベイ (<https://mikiwame.com/well-being.html>)」
- ・1on1を起点に社員のパフォーマンスを最大化する「ミキワメ AI マネジメント (<https://mikiwame.com/management.html>)」
- ・AI × コンサル × 研修で、組織変革を実現する「ミキワメ AI AI コーチ (<https://mikiwame.com/ai->

[coach.html](#)」

- ・理論と現場をつなぎ、組織の変化まで届ける研修「ミキワメ AI 企業研修 (<https://mikiwame.com/kensyu.html>)」
- ・日本最大級の優秀層就活支援サービス「ミキワメ就活 (<https://www.recme.jp/>)」
- ・会員制の就職活動支援プログラム「NEXVEL (ネクスベル) (<https://nexvel.co.jp/>)」
- ・適性検査、人事、採用などに関する情報発信ブログ「ミキワメラボ (<https://mikiwame.com/lab/>)」

・株式会社 F C E

設立：2017 年 4 月 21 日

代表取締役社長：石川淳悦

証券コード：9564

本社：東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 9 階 10 階

事業内容：DX 推進事業、教育研修事業、出版事業

URL：<https://fce-hd.co.jp/>

当社は「チャレンジあふれる未来をつくる」というパーパスのもと、人的資本の最大化に貢献することを使命とし、DX 推進事業と教育研修事業を展開しています。

【最強の IT ツール】として約 7,300 製品中第 1 位（※1 2024 年度には約 10,000 製品中、第 2 位※2）を獲得した「ロボパット AI (<https://fce-pat.co.jp/>)」、社員教育を一つで完結できる定額制オンライン教育システム「Smart Boarding (<https://smartboarding.net/>)」、世界 5,000 万部、国内 270 万部発刊の世界的ベストセラー『7つの習慣』の出版 (<https://fce-publishing.co.jp/>)、そして企業の生産性を進化させる AI プラットフォーム「AI OMNI AGENT (<https://www.fce-aiomniagent.com/>)」、など中小企業から大企業まで、また全国の自治体や教育機関を対象に幅広く事業を展開しています。

※1 ITreview Best Software in Japan2023 より

※2 ITreview Best Software in Japan2024 より